

千葉県病院事業のあり方検討委員会について

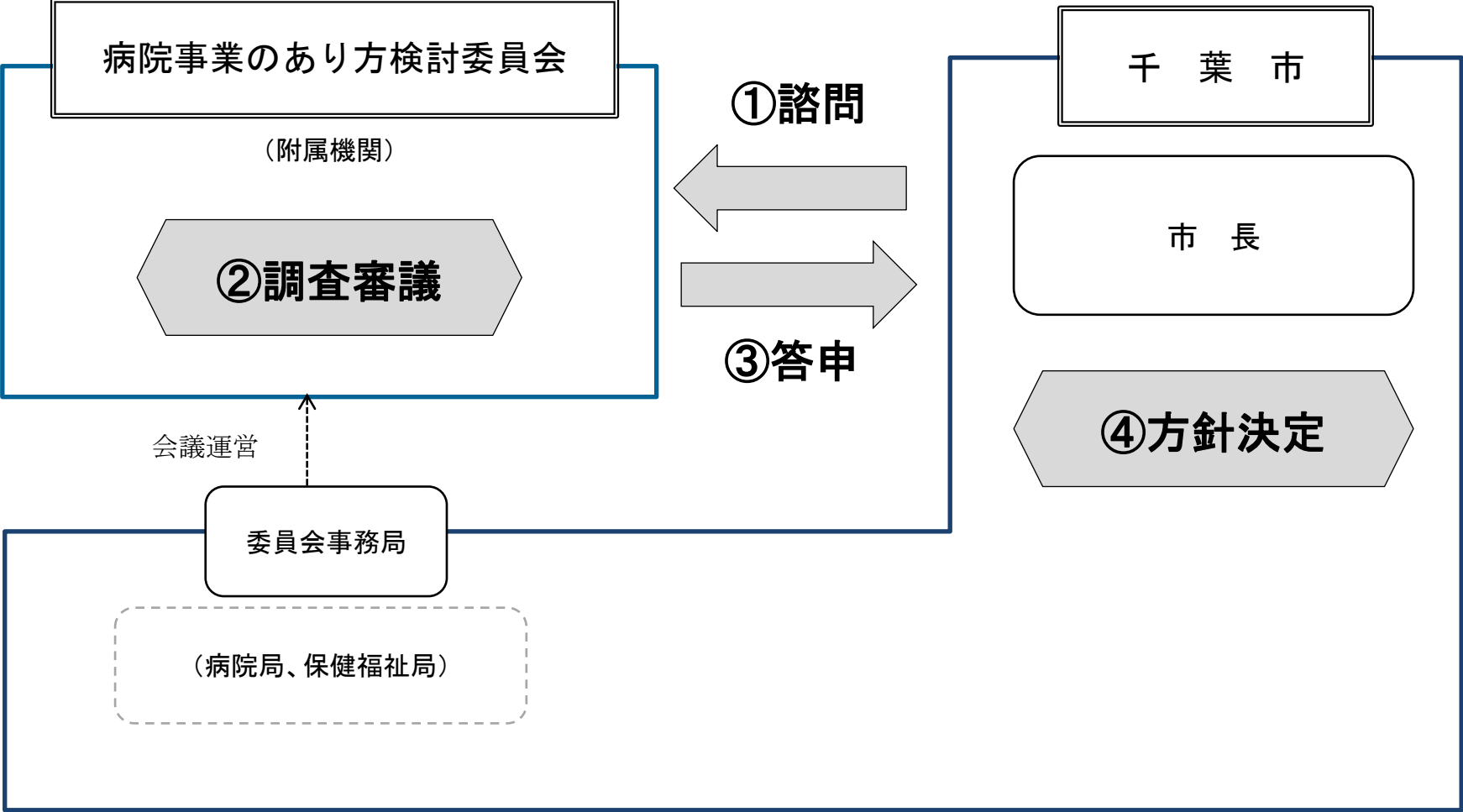
- 1 人口減少や少子高齢化が進み、人口構造が大きく変化する見通しで、将来の医療ニーズを把握し、その需要にあった対応をしていく必要がある。
- 2 昭和59年に海浜病院を、平成15年に青葉病院を開設。海浜病院は開設後35年目を迎え、施設（特に給排水設備）の老朽化が著しく、建替え等について早急に結論を出す必要がある。合わせて、青葉病院についても、今後10年以内に大規模改修の実施等について検討する必要がある。
- 3 平成23年度に地方公営企業法全部適用に変更。平成25年度以降、人的投資、設備投資に応じた医業収益を確保することができず、5年連続赤字。早急な経営の健全化が必要。

このことから、本市の将来的な医療需要及び医療提供体制や両市立病院が抱える課題等を踏まえた今後の病院事業のあり方について検討するもの。

検討すべき課題

- ・ 将来的な医療需要を踏まえた市立病院の医療内容について（診療機能・規模）
- ・ 医療提供体制について（2病院体制又は統合等、立地）
- ・ 経営形態について（全部適用の継続又は他の経営形態への移行）

病院事業のあり方検討委員会の流れ



今後の開催予定について

開催時期(予定)	回	主な議題
2018年 12月	第1回	・委員長・副委員長の選任 ・会議の公開及び議事録について ・千葉市病院事業のあり方検討委員会について (病院事業のあり方検討の経緯の共有と委員会の進め方) ・千葉医療圏及び両市立病院の現状と課題について (現状と課題についての共有と論点整理)
2019年 3月	第2回	・今後提供すべき医療機能について (第1回内容を踏まえ、市立病院が今後提供すべき医療機能について審議)
5月	第3回	・医療提供体制(機能、規模、立地、経営形態)について (第2回までの内容を踏まえ、市立病院の医療提供体制について審議)
7月	第4回	・答申原案について (第3回までの意見を取りまとめた答申原案について審議)
8月	第5回	・答申案について (第4回の意見を踏まえた答申案について審議。答申内容を決定)
8月	—	「千葉市の病院事業のあり方について(答申)」を市長へ提出